

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<b>■地域の抱えている課題を探る</b> ○地域包括支援センターに寄せられる相談事例から地域の今の状況を知る。	○浅羽地域包括支援センターのミーティングに同席 毎週 1回
財務	<b>■中長期事業計画の策定</b> ○既存施設を建て替える時期とそのため の積立金の目標額を設定する。 （令和3年度から継続）	
業務	<b>■ルンビニ第二保育園の認定こども園への移行</b> ○県庁に認可申請を行う。 <b>■法人内での情報共有の電子化</b> ○新しいツール（google workspace） の利用を管理職の間で促進する。	○認定こども園に移行 令和5年度～
人材	<b>■労務管理の整備</b> ○給与計算期間の締め日の変更 勤務表と賃金台帳の労働時間の計算 期間を一致させ、2重管理の煩雑さを なくす。 ○タイムカードの電子化 介護部門の勤怠管理をクラウドシス テムに移行し、職員が勤務変更等を申 請する際の手続きをペーパーレス化す る。	○給与締め日の変更 令和4年6月～  ○勤怠システム 選定 済み（クロノクラウド） 導入・設定 令和4年5月～6月 稼働 令和4年7月～

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関りを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	医療依存度、介護依存度の高いご利用者や、周辺環境が不安定なご利用者に、安心してサービスを利用していただくために、施設内の各担当職が、自身の専門性を高める取り組みを実行する。	各部署で立案された専門性を高めるための取り組みが、7割以上着手または実行できていること。
財務	地域やご家族から信頼していただける施設となるために、外部への情報発信の強化や、ご家族との情報共有システムの構築に取り組む。	各部署で立案された情報発信や情報共有のための取り組みが、7割以上着手または実行できていること。
業務	事例や事故を未然に防ぐため、また発生してしまった事例や事故の再発を防止するために、リスク事例検討のシステムを再構築し、確実に機能するものとする。	各部署で立案された事例や事故を減らすための取り組みが、7割以上着手または実行できていること。
人材	ご利用者やご家族、職員など施設を訪れる全ての人気が持ち良く過ごすことが出来る場所であるために、施設全体で接遇力向上、ハラスメント防止に取り組む。	各部署で立案された接遇力向上、ハラスメント防止のための取り組みが、7割以上着手または実行できていること。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全にサービスをご利用いただけます。</p> <p>入浴方法は一般浴・個浴、中間浴、機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。レクリエーションは、身近な器具を使って体操をする機能訓練、ゲーム等で楽しみながら体を動かす遊びリテーションとグループに分かれて活動をしています。おやつ作りや調理、制作、野菜作りなどの他に、ボランティアの方による書道や詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメントなども行なっています。1ヶ月に3団体以上のボランティアの方が歌や踊りなどを披露していただき、ご利用者の楽しみにもなっています（現在はコロナ禍のため休止）。</p> <p>機能訓練指導員による機能訓練を実施し、希望者にはマシンを使用したパワーリハビリも行っています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家であるべく長く過ごせるように、職員が一丸となり自立支援に取り組んでいます。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■<u>統一したケアを行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーセルインデックスの研修を行うことにより自立支援に向けた取り組みに繋げる。</li> </ul> <p>■<u>認知症のご利用者様の関わりを強化し、その方が安心して過ごしていただけるよう取り組む。</u></p> <p>■<u>利用者様の活動を報告</u></p>	<p>○認知症のご利用者様のプログラムを作成する。 4月～</p> <p>○ご利用者様の表情や活動写真を撮り、ケアマネ・家族に報告する。 1回/2~3ヶ月</p>
財務	<p>■<u>加算の取得</u></p> <p>■<u>茶ろん（サービス A）の登録者数を増やす</u></p>	<p>○認知症加算 日常生活自立度ランクⅢ、Ⅳ又はMの利用者数 20%以上</p> <p>○ADL維持等加算</p> <p>○登録者数 30名/月</p>

業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>業務分担の整理</u></li> <li>・職員の負担が偏らないよう整理する。</li> <li>■ <u>リスクマネジメント</u></li> <li>・ヒヤリ・ハッと報告啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例報告、ヒヤリ・ハッと報告から対応方法を検討 ケース会議 1回/月</li> </ul>
人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>バーセルインデックスの標準化</u></li> <li>・介護職員全員がバーセルインデックスの評価ができる。</li> <li>■ <u>QC活動</u></li> <li>・テーマを決めて職員全員が1つの目標に向かって取り組む。</li> <li>■ <u>外部研修</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機能訓練指導員を中心に研修を行う。 2ケース/月</li> <li>○計画 9月～</li> <li>実施 10月～12月</li> <li>反省 1月</li> <li>マニュアルに落とし込めるものはマニュアル化する。</li> <li>○職員1人につき1講座受講する。</li> </ul>

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	5名
サービス種別	居宅介護支援事業所		
サービスの特色・方針	特色：「その人」に合わせて、その人の繋がりを大事にして、自立支援に資するケアマネジメントを行います。 方針：法人理念の則し、利用者の生き方や価値観の尊重、基本とした支援を提供します。		
社会福祉への取り組み	事業所全体の資質向上に努め、地域福祉の発展に貢献できるように取り組みます。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<b>■適切なマネジメントの実施</b> ○住み慣れた地域でその人らしい生活の継続を支援する ○医療機関や介護サービス事業者等の多職種連携を強化する ○職員間での情報共有により、事業所全体でその人の生活を支える	・適切なマネジメントが行われているか最低でも月1回ご自宅を訪問しモニタリングを実施する ・24時間365日の連絡体制の継続 入退院時の情報提供をきちんと行う事で連携を図っていく ・週1回の定期カンファレンス実施
財務	<b>■選ばれる事業所となる</b> ○法令遵守する ○公正中立なマネジメントを行い地域住民や関係機関からの信頼を得る ○特定事業所加算Ⅱ取得の継続	R3年度給付管理件数目標：165件（介護給付のみ） ・運営基準の厳守 ・新規の依頼については職員の状況を把握して事情がない限り受ける
業務	<b>■利用者の生活を良く理解し個別の計画を共に考えて創り支援を必要とする人の存在を認め適切な対応ができる</b> ○利用者自身の理解を深める ○生活課題の問題解決のために地域への視点を持つ ○利用者だけではなくその周りに暮らす人々とのつながりを大事にする支援	○自立支援に資するケアプラン作成 ○アセスメントを地域との接点で把握する ○地域に在る資源や機関と連携を図る ○健全なる給付の実施
人材	<b>■専門的な倫理・知識・技術の獲得を目指す</b> ○職員各自、目標を設定した研修計画の作成及び実施 ○ケアプラン点検を受けケアマネジメントの質の向上に努める ○自分の準拠枠を広げ、俯瞰的な視点を養うように努める	○主任ケアマネは法定研修以外の研修に年4回以上参加する ○各自の目標にそった研修への参加 ○相談援助者として日常的にストレスを浴びるのでソーシャルサポートしていき離職者を減らす ○他法人との事例検討会に参加する ○地域包括支援センターが主催する事例検討会に参加する

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	職員数	7名
サービス種別	地域包括支援センター		
サービスの特色・方針	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していきます。センターでは、保健師（2名）・社会福祉士・主任ケアマネージャーの4職種と生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員・介護支援専門員が配置されています。地域に暮らす住民等の困り事においては、それぞれの専門性を活かし、様々な機関と連携し業務を行っています。又地域のネットワークを駆使して解決に努めます。		
社会福祉への取り組み	介護予防、日常生活への支援体制構築に努めます。又、地域に出向き活動に参加し住民の声を聞き取り、声が形になるよう取り組みます。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	<p>■<u>地域アセスメントへの取組</u></p> <p>○地域住民の課題に向き合いながら、一緒に考えながら取り組む。</p>	地域住民等の意見を幅広く汲み上げそれらを各関係機関と地域住民と連携を図り、課題に取り組みます。
財務	<p>■<u>限られた財源の中で、計画的に活用</u></p> <p>○今年度ケアプラン作成において、プランナの増員により、各自負担増にならないよう取り組むと同時に、専門職追加により、支援体制の構築にも努める。</p>	予防プランの作成には、専門職の協力を得ながら、委託事業所と連携を図り、計画書に取り組みます。
業務	<p>■<u>市から示された重点取組事項の推進</u></p> <p>1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>2) 在宅医療・介護連携の推進</p> <p>3) 地域ケア会議の推進</p>	<p>1) 現在、住民が取り組んでいる生活支援ネットワーク「支え愛」は、順調に進んでいますが、昨年より進めている移動支援部会も、実証実験が7月より始まり、来年の1月にスタート出来るように進めています。</p> <p>2) 癌末期等で迅速な対応が必要なケースや医療ニーズが高いケースは、市や医療・介護サービスとの連携を図り、在宅生活にスムーズに移行できるように取り組む。</p> <p>3) 困難事例については、適宜個別地域ケア会議を開催する。解決できない問題は、市に提言する。</p>

	4) 認知症施策の推進	4) 市から依頼された認知症サポーター養成講座のみだけではなく、認知症についての講座を開催して、地域の方に認知症の理解を深めるようにする。 認知症初期集中支援チームとの連携し、適切な医療や介護等地域での生活が継続できるようにする。
人材	■ <u>専門性を活かして、包括職員として知識を向上していく。</u>	積極的に必要なWEB研修に参加し、専門性を築いていくように努めます。又、それぞれの専門性を活かしながら、案件に対応できるように職員間の連携に努めます。

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症にやさしい地域を創る会）</p>		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■柔軟性を活かした臨機応変なサービス提供</p> <p>■その方を取り巻く環境にも配慮した包括的サービス提供</p> <p>■おもてなし +1 のサービス提供</p>	<p>○ニーズを把握し、その方に今必要なサービスを提供する。</p> <p>○家族、行政、包括、地域等、他の機関との連携強化</p> <p>○基本のニーズに+1 をしてお帰りいただく意識 身なり、口腔ケア、ADL・病状改善など</p>
財務	<p>■毎月の目標売上のクリア</p> <p>○安定した事業運営</p> <p>■安定した登録者数の確保</p> <p>■職員が辞めない職場環境作り</p>	<p>○月間売上620万円を目指す。</p> <p>○営業活動の強化 登録者数が25名を下回らない</p> <p>○SNS を使った活動報告の回数を増やす</p> <p>○承認マネジメント 風通しの良い職場環境作り</p>



<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p>■<u>感染症対策</u></p> <p>○コロナ対応 クラスタ防止 安心して施設を利用出来る</p> <p>■<u>ケアカルテの積極的活用</u></p> <p>○業務の効率化</p> <p>■<u>SNSの積極的活用 情報発信</u></p>	<p>○日々の感染対策の徹底 職員からの持ち込み防止 クラスタを防ぐ為の BCP 作成</p> <p>○勉強会の開催 多くの機能を有効活用出来る 記録時間短縮 作業効率 UP 使いやすいカスタマイズ 情報分析によるケアの見える化</p> <p>○フェイスブックの投稿回数 UP 視聴回数の UP 投稿、編集作業の出来る職員増</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p>■<u>安定した職員数の確保</u></p> <p>■<u>研修会への積極的参加</u></p> <p>■<u>自責で行動出来る人材育成</u></p>	<p>○辞めない職場環境作り</p> <p>○承認マネジメント 相手の良い所を褒め、マイナスを共に改善出来る ニヤリほっとシートの件数 UP</p> <p>○職員間での接遇・マナー</p> <p>○ウェブ研修を中心に参加率の UP 勉強会、職員間での情報共有 業務の中に学びを活かす</p>

事業所名称	グループホームひなた	定員	18名
サービス種別	認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	要支援2～要介護5までの認知症の方に、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと共に行い、生活に満足出来るようなケアを提供する。認知症の方が混乱しないで普通の生活を送る事が出来るよう配慮し、画一的では無く、個々の生活を重視することにより、認知症の進行を穏やかに出来るようケアする。		
社会福祉への取り組み	①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症にやさしい地域を創る会、認知症サポーター養成講座）		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<p>■利用者様個々が活躍出来る場を作る</p> <p>■利用者様個々の状態に合ったサービスの提供（認知症状）</p> <p>■日々の体調変化、急変を見逃さず、安心安全な生活の提供</p>	<p>○その方の能力、好きな事や得意な事を見つけ、仕事や役割、活躍出来る場を作る</p> <p>○アセスメントとプラン作り 生活歴や好み、認知症状等、その方の情報・分析</p> <p>○定期的にカンファを行い、必要なケアの内容を話し合い実践する</p> <p>○日々の状態を把握</p> <p>○変化を察する観察力、洞察力、対応力のUP 記録、情報共有、対応の伝達</p>
	<p>■常時18室 満室での稼働を目指す</p> <p>■SNSを活用しての情報発信 営業活動へ繋げる</p>	<p>○空室が出た後、2週間以内の入居を目指す</p> <p>○待機者の方を作れるよう営業活動</p> <p>○待機者からスムーズに入居へ繋げられるようコンタクトを続ける</p> <p>○フェイスブック等の投稿回数UP 閲覧回数のUP</p>
財務		

<p style="text-align: center;">業務</p>	<p>■ <u>生活リハビリや家事、作業等、利用者様の日常生活の中に、メリハリや楽しみのある日課作り</u></p> <p>■ <u>リスクマネジメント</u> 同じ内容の事例やヒヤリを繰り返さない</p> <p>■ <u>感染症、防災等不足しているマニュアル作り</u></p> <p>■ <u>業務の効率化</u></p>	<p>○利用者様の生活を中心に置き、穏やかに、楽しみのある日課作り</p> <p>○生活リハビリや家事等、利用者様の「出来る」を支援し、ADLや認知症の進行を防ぐ</p> <p>○身なりを整え、メリハリのある生活を送っていただく</p> <p>○毎月の会議や委員会を通じて考察の検討、実施</p> <p>○感染症・防災のBCP作成</p> <p>○ユニット間を超え協力、分担しながら業務を進める</p> <p>○効率良く作業出来る業務マニュアル、環境作り</p>
<p style="text-align: center;">人材</p>	<p>■ <u>サービス業である事を自覚し、接遇を重んじた行動のとれる職員作り</u></p> <p>■ <u>認知症のケアが出来る職員作り</u></p> <p>■ <u>チーム力の向上</u> 職員間のコミュニケーション向上</p>	<p>○利用者様、ご家族、来客、電話対応地域の方、職員間でもマナーとおもてなしを重んじた行動がとれる</p> <p>○認知症の勉強会 各種研修への参加 一人一人の症状に合わせた対応が出来るようスキルUP</p> <p>○問題、課題に対し、受け身で無く個々が解決方法を考え、チームで実践</p> <p>○引き算のケアを含め、症状に合わせ技術として対応が出来る</p> <p>○承認マネジメント 相手のプラスを認め、マイナスは共に改善出来る</p> <p>○自責で行動出来る</p> <p>○職員間での接遇・マナー 困っている事に積極的に声を掛け合える職場作り</p>

事業所名称	ルンビニこども園	定員	100名
施設区分	幼保連携型認定こども園		
保育の理念・方針	<p>ルンビニこども園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『<b>仏教</b>』を基本理念として保育・教育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニこども園は仏教保育をするこども園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p>&lt;生命尊重&gt;</p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p>&lt;修善&gt;</p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p>&lt;協調&gt;</p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p>		
社会福祉への取り組み	在園中の家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■<u>保育の標準化</u></p> <p>○子どもを中心においた保育を模索し、どの職員も同じ対応ができるよう標準化を目指します。</p> <p>○子どもの育つ力を後押しします。</p>	○保護者との連携を密にとり、子ども一人一人にあった保育を提供します。
経営（財務）	○新設の <b>Baby</b> 棟とリフォームを終えた <b>Kids</b> 棟により、定員の120%まで子どもを預かることが出来るようになりました。更に認定こども園に移行したことにより1号認定の児童を預かる事も出来ます。安全安心に配慮し、選ばれる園になるよう勤めます。	○2ヶ月に1回程度の園庭開放を実施し、地域に対する園情報の発信に努めます
運営と業務	<p>■<u>ホームページの活用</u></p> <p>○園の情報発信</p> <p>○利用希望者の増加</p> <p>○就職を検討する学生へのアピール</p>	○ホームページの内容の充実とこまめな更新を図り、園の理解促進につなげます。

<p style="text-align: center;">職員 (人材)</p>	<p>■<u>職員のスキルアップ</u></p> <p>○保育士のキャリアアップ制度並びに各種外部研修の受講が事実上義務化されました。これまで以上に参加しやすい人員配置を計ります。</p> <p>■<u>仏教保育について園内研修の充実</u></p> <p>○若い職員も多くなり、既存職員に対しても新たためて仏教保育について周知する研修を充実させる。</p>	<p>○子ども園として充実した保育・教育が提供できるよう、採用活動をすすめる。</p> <p>○新規採用職員を含め、あらためて仏教保育の本分について研鑽を積む。</p>
--	---	--

事業所名称	ルンビニ第二保育園	定員	90名
施設・事業所類型	保育所		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える心豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な時期です。保育の専門性を活かし乳幼児期を安全に保護育成していきます。又、乳幼児期に身につけなければならない基本的な生活習慣や必要な知識の芽生えを促すため豊かな体験と環境を設定しています。豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で保育、幼児教育がめざす人間形成の基礎(学びの土台・育みたい「10の姿」)を育てる為に子どもの主体性を大切に保育や環境を整えていきます。</p>		
保育の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自園給食と食育</li> <li>・年齢別保育と異年齢保育の融合</li> <li>・体育指導、音楽指導、英語教室、茶道</li> </ul>		
社会福祉への取り組み	<p>地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>一時預かり保育事業の経営</p> <p>相談窓口の開設</p>		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■<u>子育てのサポートセンターとして機能する。</u></p> <p>○保育参観・参加を通して、子育ての楽しさを知る支援をする。</p> <p>○絵本の読み聞かせを推進。</p> <p>○家庭への食育推進。</p> <p>○保護者へのアンケート実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの動画配信を行っていく。</li> <li>・行政や専門機関と連携し、保護者を支援する。</li> <li>・全園児を対象として絵本の貸し出しをする。</li> <li>・食育だより、食育計画の充実。</li> <li>・保育の振り返りを行う。</li> </ul>
経営（財務）	<p>■<u>定員充足率は117%を目標とする。</u></p> <p>目標 106名</p> <p>■<u>こまめな節約を心掛ける。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月までの入園内定数 104名</li> <li>来年、こども園移行を予定しているため、1～4歳児の入所を控えている。</li> <li>・職員全体に節約の意識を高める。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">運営と業務</p>	<p>■<u>広報活動の強化と運営の充実</u></p> <p>○ルンビニしんぶん、ホームページ</p> <p>■<u>保育環境の充実</u></p> <p>○安全かつ主体的保育環境を設定する。</p> <p>■<u>浅羽学園の取り組み</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページをこまめに更新し、多くの方に園の様子を知ってもらう。</li> <li>・昨年から取り組んでいるコーナー遊びを更に充実させ、子どもの主体性を育む。</li> <li>・浅羽北小学校区 1 校 3 園と、年間を通じて交流を行い、就学に向けて連携を深める。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">職員 (人材)</p>	<p>■<u>職員のスキルアップと、働きやすい職場環境を目指す。</u></p> <p>○保育士等キャリアアップ研修や他の研修に、積極的に参加する。</p> <p>○保育士確保により、安定した就労体制を目指す。</p> <p>○人間性を高め、視野を広げて自ら学ぶ職場とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門リーダー、職務分野別リーダーは日常の職務にあたりながら、後輩の指導を行う。</li> <li>・実習生やボランティア、見学者を積極的に受け入れ、職員のスキルアップを目指すとともに、就労に繋がるようにする。</li> </ul>

事業所名称	ルンビニあゆみ園	定員	129名
サービス種別	幼保連携型認定こども園		
保育の特色・方針	<p>ルンビニあゆみ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『<b>仏教</b>』を基本理念として保育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園同様、仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p>&lt;生命尊重&gt;</p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p>&lt;修善&gt;</p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p>&lt;協調&gt;</p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p> <p>個別対応の乳児保育担当保育をおこないます。</p> <p>遊びを通じ、子どもの主体性を育む保育をおこないます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>地域の子育て拠点として、園庭開放、子育て広場などおこないます。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れをします。</p>		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■保護者への情報発信</p> <p>○保育参観をはじめとする行事の実施。</p> <p>○保護者へのアンケート調査。</p>	<p>○おたよりだけでなく、ホームページで写真を多用し、園の保育を発信している。4年度より動画配信をおこなう。</p> <p>○職員の自己評価とともにHPにて公表。</p>
経営（財務）	<p>■1号認定児の募集</p> <p>○1号認定児の入園につながるよう、地域への発信。子育て広場、園庭開放、チラシの設置、HPによる発信などおこなっている。</p>	<p>○4月当初入園児童数123名</p> <p>0歳児 7名 3歳児 28名</p> <p>1歳児 18名 4歳児 28名</p> <p>2歳児 18名 5歳児 24名</p> <p>内1号認定児は9名</p>
運営と業務	<p>■個別対応と担当保育の確立</p> <p>○個別対応未経験の職員に対する指導の徹底。</p>	<p>○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。</p>
職員（人材）	<p>■職員の休暇取得</p> <p>○正職員の公休数が上がることでより、もう一度休みを取りやすくなるよう業務を見直す。</p> <p>■歳児別研究部会について</p> <p>○保育部門合同で、歳児別研究部会による研修を継続。</p>	<p>○公休増が有給使用減につながらないようにしていく。</p> <p>○それぞれの園に特徴があり、まったく同じではないが、基本的な部分を共有していく。</p>



事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
施設・事業所類型	小規模保育事業所 A型		
保育の 理念と方針	ルンビニ保育室『花びら』は、小規模保育事業所(A型)です。 保育理念、保育方針はルンビニこども園に準じます。		
保育の特色	対象年齢は0.1.2歳児。乳児保育担当制の保育を行います。		
社会福祉への 取り組み	浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。 実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。		

今年度の挑戦（令和4年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個別対応</li> <li>・一人一人の育ちに寄り添い、個々にあった保育を提供する。</li> <li>・保護者の悩みや相談に乗り、必要な援助や助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生活リズムを把握し、子どもたちにとって無理のない園生活を提供する。</li> <li>・必要に応じたカウンセリングを行う。</li> </ul>
経営(財務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発達に合わせた環境構成</li> <li>■定員割れの状況の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なケース会議を行い、発達に合わせた環境を整える。</li> <li>・チラシ配布等、積極的に園児募集を行う。</li> </ul>
運営と業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担当保育の確立</li> <li>・連携施設間での異動あり</li> <li>・マニュアルの周知と徹底</li> <li>・情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状に満足せず、個別対応の理想的な在り方を学び続け、マニュアルを適時更新する。</li> <li>・コミュニケーション式のお便りを増やし、配信を楽しみにしてもらえるよう工夫する。</li> </ul>
職員(人材)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研修への参加</li> <li>・積極的にスキルアップに努める</li> <li>■連携施設間での職員調整</li> <li>・施設間で人材に困ったときにはヘルプに回れるように普段から交流し、即戦力になれるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員数も含め計画的にキャリアアップ研修受講者を決めていく</li> <li>・職員が感染症等にかかり出勤出来ない状況の時は、連携施設間で行き来出来るようにする。</li> </ul>